

一朝ドラに寄せて

音楽家＜古関裕而・間中勘・中山晋平そしてニッパ＞

4月からコロムビア作曲家古関裕而モデルのNHK朝ドラ「エール」が始まった。

初回ころから蓄音機、レコード、ハーモニカでのスタートでした。

10年来の古関メロディファンとして大好きな・高原列車が行く・栄冠は君に輝く・とんがり帽子・オリンピックマーチ・長崎の鐘・憧れの郵便馬車・など軽快なメロディが朝の茶の間に響き渡りコロナで沈んだ国民の気持ちをウキウキ高揚させてくれる～そんな景色を思い浮かべるが果してドラマでは？知る由もなし。

ドラマ化実現には生誕地の福島市と妻 金子のふるさと豊橋市が6年前から約16万人の署名を集めNHKに働きかけ放映につながったそうです。放射能と津波で苦しむ中で市民の熱意、執念が実り朝ドラに繋がり我がことのようにうれしい限りです。

以前から駅前には銅像が建られ30分置きに古関メロディが流れそして市役所電話待ち受けも古関メロ、コロナが早く収束し福島市内の古関裕而音楽記念館が一段と輝きを増すことを願うばかりです。

私には作曲名人の古関裕而と私たち地元のOBハーモニカ仲間の先生だった

ハーモニカ名手の間中勘先生が同じ音楽芸術家と

して似たような生きざまを感じ

重ね描きながらドラマを見たいと思います。

両者の生い立ちは裕福な銀行系・呉服屋 と利根川添いの陸の孤島(七郷村)のようなさびれた困窮商家とまるで対照的です。間中勘に出会ったころから先生には次世代に語りつなげたいような人生のドラマ性があるとその魅力を感じてきました。

幼少～青年期 どもり(吃音)の劣等感に耐え尋常高等小学校卒後に旋盤職工として働き向学心に燃え苦学しながら夜間芝商業高校、夜間の明治学院大学 更に通信制中央大学法科も卒業しました。勤めの傍らハーモニカ音楽への情熱は衰えず「全日本ハーモニカ学生コンクール優勝」「国際ハーモニカコンクール準優勝」・等 乗り越えた山坂80余年に亘るハーモニカ人生でした。その足跡を市内のガランとした秀緑跡の建物の片隅にささやかでも記念スペースを設けて例え小さなショウケースでも良いから心揺さぶる間中トーンの響きと共に語りつなげられたいと願ってきました。



昭和～平成の時代 日本を代表するハーモニカ音楽家として活躍された先生は3年前に享年90歳で逝きました。茨城県が魅力度「全国7年連続最下位」の汚名を当市も加担している悔しさを感じOB仲間や行政、市民、特に生誕地の七郷村の方々の協力を得て文化の証らしきもの皆無のこの小さな町に蓄音器の音聞く

「ニッパ物語」と共に輝やかせれば と思ってきました。

私も60代～70代の元気なころは自分の2nd ライフスキルを活用し先生の

行く先々の全国の演奏会場で「坂東市が生んだ日本有数のハーモニカ 間中勘」の足跡を拡大

してPR、3rd ライフを楽しませていただきました。

ハーモニカひと筋の記録は先生を慕うハーモニカ仲間によって映像や演奏音として後世につながる形でしっかり残されています。

先生は単に演奏が上手いだけでなく歌(詩)の心を理解しての演奏です。

遺品には全人未踏の難曲140曲6枚組CD化、ハーモニカ編曲1300曲余りの手書きの生譜面・等が含まれます。

残念ながら未だその方向付けがされないまま時は流れます。

間中勘が几帳面に残したハーモニカ関連の遺品、著作物は今も坂東市の「市のさしまミュージアム」と「妻の間中綾子さん宅」「映像記録はハーモニカ仲間の田村芳直氏、富山誠氏宅」・等にしっかり保管されています。やがて私も消える運命 もはや時間少ないを感じてます。

間中勘の魂の遺品に目を反らさずハーモニカと云う極めてニッチ分野なれど この地域で生まれた音楽家のドラマを語りつないでほしいものです。

翻って

ビクターには小関裕而と並ぶ かの有名な大作曲家 中山晋平がいました。

晋平は私のふるさと信州が生んだ曲創り名人で茨城が生んだ童謡詩人野口雨情と共に・シャボン玉・あの町この町・黄金虫・雨降りお月、兎のダンス、船頭小唄、波浮の港(ビクター創立記念初発売レコード)そして・カチューシャの唄・東京音頭・など数え上げれば切りがないほどの名曲を残しました。

その偉業を後世に伝えんと「中山晋平 記念館」が信州の県北小さな数万の生誕地、中野市にあります。14年前に訪れた館内の大型スクリーンには常時ニッパマークが大きく映っていたのが印象的でした。

周りに人の居ないを良いことに一人でスクリーン前で社歌をハーモニカで吹いたらみっともないと家内に窘められた思い出があります。

同じ市内の至近距離には国民的唱歌となっている ・故郷(ふるさと)や

・朧月夜・春がきた・春の小川・等 数々の童謡、唱歌、校歌の作詞で名を馳せた「高野辰之記念館」もあります。地形も気候も平坦でなく険しく厳しい信州の風土や県民性を感じました。

拙い長文お許しを

(自称)ハーモニカおじさん in 坂東



“ニッパ愛”を感じる筆者自宅のコレクション(編集者追記)